



Cisco Unified Video Advantage インストレーション およびトラブルシューティング ガイド

リリース 2.3

2012 年 12 月 12 日

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意
(www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。
あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

CCDE, CCENT, CCSI, Cisco Eos, Cisco Explorer, Cisco HealthPresence, Cisco IronPort, the Cisco logo, Cisco Nurse Connect, Cisco Pulse, Cisco SensorBase, Cisco StackPower, Cisco StadiumVision, Cisco TelePresence, Cisco TrustSec, Cisco Unified Computing System, Cisco WebEx, DCE, Flip Channels, Flip for Good, Flip Mino, Flipshare (Design), Flip Ultra, Flip Video, Flip Video (Design), Instant Broadband, and Welcome to the Human Network are trademarks; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn, Cisco Capital, Cisco Capital (Design), Cisco:Financed (Stylized), Cisco Store, Flip Gift Card, and One Million Acts of Green are service marks; and Access Registrar, Aironet, AllTouch, AsyncOS, Bringing the Meeting To You, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, CCVP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Lumin, Cisco Nexus, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Collaboration Without Limitation, Continuum, EtherFast, EtherSwitch, Event Center, Explorer, Follow Me Browsing, GainMaker, iLYNX, IOS, iPhone, IronPort, the IronPort logo, Laser Link, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MeetingPlace Chime Sound, MGX, Networkers, Networking Academy, PCNow, PIX, PowerKEY, PowerPanels, PowerTV, PowerTV (Design), PowerVu, Prisma, ProConnect, ROSA, SenderBase, SMARTnet, Spectrum Expert, StackWise, WebEx, and the WebEx logo are registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company.(1002R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco Unified Video Advantage Release 2.3 インストールおよびトラブルシューティングガイド
© 2012 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



CONTENTS

CHAPTER 1

Cisco Unified Video Advantage 用のネットワークの準備 1-1

- Cisco Unified Video Advantage について 1-1
- サポートされているプロトコル 1-1
- ネットワーク、サーバ、およびクライアント PC の要件 1-3
- サーバとアプリケーションの相互対話 1-3
- Cisco Unified Communications Manager の設定 1-3
- Cisco Unified IP Phone の設定 1-5

CHAPTER 2

Cisco Unified Video Advantage の展開と更新 2-1

- アプリケーションを展開する方法 2-1
 - インストーラ パッケージの名前 2-1
 - ソフトウェア コンポーネント 2-2
 - ソフトウェア ダウンロード サイト 2-3
- アプリケーションおよび Cisco VT Camera II ドライバの展開 2-4
- コマンドライン オプションによる展開のカスタマイズ 2-5
- ログ ファイルの場所 2-6
- アプリケーションのインストール 2-7
- アプリケーションの更新 2-7

CHAPTER 3

ユーザへの Cisco Unified Video Advantage に関する情報の提供 3-1

CHAPTER 4

Cisco Unified Video Advantage のトラブルシューティング 4-1

- ビデオの問題の解決方法 4-1
 - 複数の参加者による会議でビデオが表示されない 4-1
 - 音声とビデオ リップ同期の不良 4-2
 - ビデオ ウィンドウにビデオが表示されない、ビデオ無効アイコンが表示される 4-2
 - Cisco Unified IP Phone の LCD 画面に「ビデオ帯域幅が使用できません」というメッセージが表示される 4-3
 - システム トレイにビデオ問題のアイコンが表示される 4-3
 - 電話スクリーンにビデオ アイコンが表示されず、Cisco Unified Video Advantage が Cisco Unified IP Phone に関連付けられない 4-3
 - モバイル機器を使用している従業員または在宅勤務社員の帯域幅問題 4-4
 - H.323 エンドポイントでのコールの切断 4-4
 - PC の CPU 使用率が 100 % 4-5

Cisco Unified Communications Manager の診断ツールの使用方法	4-5
Serviceability Troubleshooting Trace の使用方法	4-5
Real-Time Monitoring Tool (RTMT) の使用方法	4-6
CDR Analysis and Reporting (CAR) の使用方法	4-7
Cisco Unified Video Advantage の診断情報とログ情報の収集方法	4-7
診断情報の収集	4-7
他のアプリケーションの問題に関する詳細ログの取得	4-8
ログの自動キャプチャ (アプリケーションがクラッシュした場合)	4-9

APPENDIX A

Cisco VT Camera II の技術仕様	A-1
物理環境および動作環境に関する仕様	A-1



CHAPTER 1

Cisco Unified Video Advantage 用のネットワークの準備

- 「Cisco Unified Video Advantage について」 (P.1-1)
- 「サポートされているプロトコル」 (P.1-1)
- 「ネットワーク、サーバ、およびクライアント PC の要件」 (P.1-3)
- 「サーバとアプリケーションの相互対話」 (P.1-3)
- Cisco Unified Communications Manager の設定
- Cisco Unified IP Phone の設定

Cisco Unified Video Advantage について

Cisco Unified Video Advantage は、Cisco IP Communicator などのすべてのビデオ対応 Cisco Unified IP Phone にビデオ テレフォニー機能を提供します。Cisco Unified Video Advantage ソフトウェアとサポートされている USB カメラを組み合わせて使用すると、Cisco Unified IP Phone に接続された PC で、通話時にビデオ機能を利用することができます。

Cisco Unified Communications Manager 対応の Cisco Unified CallManager は、Cisco Unified Video Advantage (旧称 Cisco Unified IP Phone) に登録することによって、IP ビデオ電話の豊富な機能を利用できます。自動転送、転送、会議、保留、および消音などのコール機能は、ビデオとともに提供され、すべて Cisco IP Communicator または Cisco Unified IP Phone から開始されます。Cisco Unified Video Advantage は、会議室で使用するための一般的なビデオ会議ソリューションではなく、デスクトップ間の IP ビデオ テレフォニー環境を視野に入れていますが。



(注)

このマニュアルでは、Cisco Unified IP Phone に関する記述は、すべてのビデオ対応 Cisco Unified IP Phone および Cisco IP Communicator Release 2.0 以降にあてはまります。

サポートされているプロトコル

表 1-1 に、Cisco Unified Video Advantage でのビデオ通信に必要な業界標準プロトコルとシスコのネットワークング プロトコルを示します。

■ サポートされているプロトコル

表 1-1 サポートされているプロトコル

ネットワーキング プロトコル	目的	使用上の注意
CAST ¹	Cisco Unified IP Phone および関連するアプリケーションが、リモート エンドポイントを検出して通信できるようになります。このとき、Cisco Unified Communications Manager やゲートウェイなどの従来のシグナリング コンポーネントを変更する必要はありません。	CAST は次の環境で動作します。 <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified Video Advantage と Cisco Unified IP Phone の間（交換機能を提供） • Cisco Unified Video Advantage と Cisco Unified Communications Manager の間（Cisco Unified IP Phone を SCCP プロキシとして使用） CAST は、Cisco Unified Video Advantage のコール イベントをトリガーします。これには、コール ビデオ ストリームの開始および停止、スピーカーのオン/オフ、音声の消音のオン/オフ、コールの保留/再開などがあります。
CDP	すべてのシスコ製の装置で動作するデバイス検出プロトコルです。 CDP を使用すると、デバイスはその存在を他のデバイスにアドバタイズし、ネットワークの他のデバイスに関する情報を受信できます。	Cisco Unified Video Advantage は CDP を使用して設定情報を Cisco Unified IP Phone に伝え、Cisco Unified IP Phone は CDP を使用して Cisco Unified Video Advantage と通信します。各デバイスは、CDP を使用してマルチキャスト アドレスに定期的なメッセージを送信し、他のデバイスによって送信される定期的なメッセージを受信します。これによって、ネットワーク上のデバイスは互いを検出し、使用されるプロトコル、プロトコル アドレスなどの情報を取得します。
IP	アドレスを指定し、ネットワークを通じてパケットを送信するネットワーキングプロトコルです。	IP を使用して通信するには、ネットワーク デバイスに IP アドレス、サブネット、およびゲートウェイを割り当てる必要があります。
RTP ²	UDP を使用して、対話型音声およびビデオなどのリアルタイム データをデータ ネットワークを通じて転送するための規格です。	RTP プロトコルは、エンドポイントと Cisco Unified Video Advantage 間で音声とビデオをカプセル化し、ストリーミングするために使用されます。
SCCP ³	狭帯域幅メッセージを使用して、IP デバイスと Cisco Unified Communications Manager 間の通信を可能にするシスコのプロトコルです。	SCCP で、Cisco Unified IP Phone がビデオ機能をレポートした場合、Cisco Unified Communications Manager は、相手側がビデオをサポートしていればビデオ チャネルを自動的に開きます。 SCCP ビデオ コールでは、リージョンを使用してビデオ コール帯域幅が決定されます。
TCP	IP ファミリのコネクション型転送プロトコルです。	Cisco Unified Video Advantage は、TCP を使用して Cisco Unified Communications Manager に接続し、Cisco Unified IP Phone と通信します。

1. CAST = Cisco Audio Session Tunnel

2. RTP = Real-Time Transport Protocol（リアルタイム トランスポート プロトコル）

3. SCCP = Skinny Client Control Protocol

ネットワーク、サーバ、およびクライアント PC の要件

Cisco Unified Video Advantage アプリケーションをユーザに配置する前に、次のリリース ノートに記載されているネットワーク、サーバ、およびクライアント PC の要件を満たしていることを確認します。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps5662/prod_release_notes_list.html

サーバとアプリケーションの相互対話

Cisco Unified Video Advantage は、次のサーバおよびアプリケーションと相互対話します。

- Cisco Unified Communications Manager

Cisco Unified Communications Manager は Cisco Unified Video Advantage のビデオ コール処理に対応しています。また、Cisco Unified IP Phone でビデオを使用できるようにするため、通話負荷を制御します。

Cisco Unified Communications Manager の詳細については、次の製品資料を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/tsd_products_support_general_information.html

Cisco Unified Communications Manager を Cisco Unified Video Advantage 用に設定する方法については、「[Cisco Unified Communications Manager の設定](#)」(P.1-3) を参照してください。

- Cisco Unified IP Phone または Cisco IP Communicator

Cisco Unified Video Advantage は、Cisco IP Communicator およびすべてのビデオ対応 Cisco Unified IP Phone でサポートされています。

ビデオをサポートしている電話の詳細については、Cisco Unified IP Phone のマニュアルや次の Cisco Unified Video Advantage リリース ノートを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps5662/prod_release_notes_list.html

Cisco Unified Video Advantage 用の電話設定の詳細については、「[Cisco Unified IP Phone の設定](#)」(P.1-5) を参照してください。

Cisco Unified Video Advantage と相互対話するサーバとアプリケーションのサポートされているリリースについては、次のリリース ノートを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps5662/prod_release_notes_list.html

Cisco Unified Communications Manager の設定

表 1-2 は、Cisco Unified Video Advantage をサポートするために、Cisco Unified Communications Manager で設定する必要がある設定値を示しています。

表 1-2 Cisco Unified Communications Manager の設定値

設定	説明	参照先
代替ルーティング	ルートリスト、ハントリストまたは AAR ¹ グループを使用して、Retry Video Call as Audio 設定（この表で後述）で指定されるデフォルトの動作を変更したい場合は、ビデオ コールに対して異なるパスを試行できます。	『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「Route List Configuration」、「 Hunt List Configuration」、および「Automated Alternate Routing Group Configuration」の項
DSCP ²	DSCP パケット マーキングは、次の QoS サービスパラメータを使用して変更できます。 <ul style="list-style-type: none"> DSCPForAudioCalls DSCPForVideoCalls 	『Cisco Unified Communications Manager System Guide』の「Bandwidth Management」の項
ロケーション	Cisco Unified Communications Manager の管理のロケーションでは、指定したロケーションのすべてのコールに対して許可する音声およびビデオ帯域幅を指定します。 次のパラメータがあります。 <ul style="list-style-type: none"> Location audio bandwidth Location video bandwidth 	『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「Location Configuration」の項
MRGL ³	Cisco Unified Communications Manager の MRGL は、MRG ⁴ の優先順位を指定します。 ビデオ電話会議の場合、MRG の中でビデオ会議ブリッジが最初の会議ブリッジ リソースとして設定され、この MRG がビデオ エンドポイントに割り当てられた MRGL の最初のエン트리であることを確認します。	『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「Media Resource Group List Configuration」の項 『Cisco Unified Communications Manager System Guide』の「Media Resource Management」の項
リージョン	Cisco Unified Communications Manager の管理のリージョンでは、各ビデオ コールのリージョン内およびリージョン間で使用される最大の音声コーデックおよびビデオ コール帯域幅を指定します。 次のパラメータがあります。 <ul style="list-style-type: none"> Region audio codec Region video call bandwidth 	『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「Region Configuration」の項
Retry Video Call as Audio	エンドポイント（電話、ゲートウェイ、トランク）がビデオ コールに必要な帯域幅を取得できない場合、コール コントロールは、音声コールとしてそのコールを再試行します。	『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「Phone Configuration Settings」の項

1. AAR = Automated Alternate Routing
2. DSCP = Differentiated Service Code Point
3. MRGL = Media Resource Group List
4. MRG = Media Resource Group

Cisco Unified IP Phone の設定

Cisco Unified Video Advantage がインストールされた PC は、Cisco Unified IP Phone に直接接続する必要があります。Cisco IP Communicator または、Cisco Unified IP Phone の PC ポートに直接接続します。

Cisco Unified IP Phone を使用する場合、Cisco Unified Communications Manager には、コール処理と、電話でビデオを使用できる程度の通話負荷が必要になります（ビデオが使用できる電話には、LCD 画面の右下にビデオアイコンが表示されます）。

Cisco Unified IP Phone を正しく設置および設定するために、次の Web サイトで該当する Cisco Unified IP Phone アドミニストレーションガイドを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/tsd_products_support_series_home.html

表 1-3 は、Cisco Unified Communications Manager で Cisco Unified Video Advantage をサポートするために、Cisco Unified IP Phone で設定する必要のある設定値を示しています。

表 1-3 Cisco Unified Communications Manager での Cisco Unified IP Phone の設定値

Cisco Unified Communications Manager の機能	説明	設定の参照先
PC ポート	Cisco Unified IP Phone の PC ポートが有効または無効のどちらであるかを示します。電話の背面にある PC ポートは、ネットワーク接続を共有するために、PC またはワークステーションと電話を接続します。	Cisco Unified IP Phone と連携して動作する Cisco Unified Video Advantage で、この機能が有効になっていることを確認します。 Cisco Unified Communications Manager の管理ページ：[Device] > [Phone] > [Phone Configuration]
電話機ロード	ビデオをサポートする通話負荷を示します。 サポートされている通話負荷の詳細については、次の Cisco Unified Video Advantage リリース ノートを参照してください。 http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps5662/prod_release_notes_list.html 使用している電話がサポート リストに載っていない場合は、次の電話のリリース ノートを参照してください。 http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/prod_release_notes_list.html この Cisco Unified Video Advantage のリリース後に、電話のサポートが追加されることがあります。	ビデオをサポートする通話負荷が各 Cisco Unified IP Phone にロードされていることを確認してください。 Cisco Unified Communications Manager の管理ページ：[Device] > [Device Settings] > [Device Defaults]
ビデオ機能	必要な機能を持った PC に接続された場合に、電話でビデオ コールを使用するかどうかを示します。	Cisco Unified IP Phone と連携して動作する Cisco Unified Video Advantage で、この機能が有効になっていることを確認します。 Cisco Unified Communications Manager の管理ページ：[Device] > [Phone] > [Phone Configuration]

**(注)**

Cisco Unified Communications Manager の一括管理ツール (BAT) を使用して、ビデオをサポートするよう、ネットワーク上の多数の電話をアップデートできます。BAT は、PC ポートやビデオ機能の設定値 (表 1-3 を参照) を設定するために使用できます。詳細については、次の URL で BAT のユーザガイドを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html



CHAPTER 2

Cisco Unified Video Advantage の展開と更新

- 「アプリケーションを展開する方法」 (P.2-1)
- 「アプリケーションのインストール」 (P.2-7)
- 「アプリケーションの更新」 (P.2-7)



(注) アプリケーションを展開する前に、「Cisco Unified Communications Manager の設定」 (P.1-3) および「Cisco Unified IP Phone の設定」 (P.1-5) の設定が完了していることを確認してください。

アプリケーションを展開する方法

- 「インストーラ パッケージの名前」 (P.2-1)
- 「ソフトウェア コンポーネント」 (P.2-2)
- 「ソフトウェア ダウンロード サイト」 (P.2-3)
- アプリケーションおよび Cisco VT Camera II ドライバの展開
- コマンドライン オプションによる展開のカスタマイズ
- 「ログ ファイルの場所」 (P.2-6)

インストーラ パッケージの名前

Cisco Unified Video Advantage および Cisco VT Camera II ドライバを展開するには、表 2-1 に示すインストーラ パッケージを使用します。インストーラは 1 つの zip ファイルにバンドルされています。この zip ファイルに、Cisco VT Camera II ドライバ用のインストーラと Cisco Unified Video Advantage アプリケーション用のドライバが格納されています。



(注) Cisco Unified Video Advantage のインストール時に、Cisco VT Camera II ドライバはインストールされなくなりました。カメラのドライバとアプリケーションは、別々にインストールしてください。



(注) Cisco VT Camera III では、オペレーティング システムにあるカメラ ドライバを使用するため、ドライバを個別にインストールする必要はありません。

表 2-1 Cisco Unified Video Advantage のインストーラ パッケージ

ファイル名	説明
CiscoUnifiedVideoAdvantageSetup.exe	この実行ファイルには、標準的な展開に必要な Windows インストーラ エンジンとデフォルトの冗長ロギングが含まれています。この実行ファイルは、エンドユーザが自分の PC にアプリケーションをインストールするときに使用することをお勧めします。
CiscoVTCameraDriverSetup.exe	この実行ファイルには、Cisco VT Camera II デバイス ドライバのインストーラが格納されています。インストール時に言語の選択を要求されます (英語以外の言語が使用可能な場合)。
CiscoUnifiedVideoAdvantageSetup.msi	この MSI ¹ パッケージを使用すると、管理者はコマンドライン オプションを使って展開をカスタマイズできます。MSI パッケージを使用した場合、ロギングは自動的に設定されません。MSI パッケージは、システム管理者が展開ツールとともに使用することをお勧めします。
CiscoVTCameraDriverSetup.msi	この MSI パッケージには、Cisco VT Camera II デバイス ドライバのインストーラが格納されています。このパッケージは、英語でのみ提供されません。

1. MSI = Microsoft Windows Installer

関連トピック

- 「ソフトウェア コンポーネント」 (P.2-2)
- 「ソフトウェア ダウンロード サイト」 (P.2-3)

ソフトウェア コンポーネント

表 2-2 に、Cisco Unified Video Advantage のソフトウェア コンポーネントを示します。

表 2-2 Cisco Unified Video Advantage ソフトウェア コンポーネント

コンポーネント	説明
CDP ドライバ	デバイス情報を送受信して、Cisco Unified Video Advantage ソフトウェアが接続先の Cisco Unified IP Phone の IP アドレスを特定できるようにします。
Cisco Unified IP Phone ファームウェア	Cisco Unified IP Phone でビデオをサポートするファームウェア リリース。 特定の電話モデルおよびファームウェア リリースの詳細については、次のサイトで、使用している電話モデルのリリース ノートを参照してください。 http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/prod_release_notes_list.html

表 2-2 Cisco Unified Video Advantage ソフトウェア コンポーネント (続き)

コンポーネント	説明
Cisco Unified Video Advantage Win32 アプリケーション	<p>次の機能を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ビデオ ウィンドウ表示を有効にし、管理します。 CDP ドライバと通信します。 Cisco Unified IP Phone を SCCP¹ プロキシとして使用して、Cisco Unified Communications Manager と通信します。 CDP を使用して、関連付けられた Cisco Unified IP Phone を検出します。 CAST を使用して、Cisco Unified IP Phone に接続します。² Cisco Unified IP Phone に送信された CAST メッセージを通じて、Cisco Unified Communications Manager およびリモートエンドポイントと間接的に通信します。 Cisco Unified IP Phone からのイベントに対応します。 システム 트레이 アイコンを作成し、管理します。 ユーザへのステータスフィードバックのためにシステム 트레이 ポップアップ メッセージを作成し、表示します。
ソフトウェア ビデオ デコーダおよびエンコーダ	H.264 が含まれます。

1. SCCP = Skinny Client Control Protocol

2. CAST = Cisco Audio Session Protocol

関連トピック

- 「ソフトウェア ダウンロード サイト」 (P.2-3)

ソフトウェア ダウンロード サイト

次のソフトウェア ダウンロード サイトにアクセスするには、Cisco.com でアカウントを登録する必要があります。

<http://tools.cisco.com/support/downloads/go/Redirect.x?mdfid=278875240>

このダウンロード サイトでは、表 2-1 (P.2-2) に示されているインストーラ パッケージが 1 つの zip ファイルで提供されます。この zip ファイルに、アプリケーションおよび Cisco VT Camera ドライバの展開に必要なすべてのファイルが格納されています。

このソフトウェア ダウンロード サイトには、サードパーティ製ビデオ カメラ用のデバイス ドライバはありません。これらのドライバは、メーカーから提供されます。

関連トピック

- 「アプリケーションおよび Cisco VT Camera II ドライバの展開」 (P.2-4)

アプリケーションおよび Cisco VT Camera II ドライバの展開

制約事項

Cisco Unified Video Advantage および Cisco VT Camera II では、管理者がデスクトップに配置したアイコンをユーザが開いてアプリケーションをインストールする、アドバタイジング展開やパブリッシング展開はサポートされていません。

作業前の準備

- 社内のユーザが自分のコンピュータに対して管理者権限を持っていない場合は、最初の展開にソフトウェア展開ツールを使用することをお勧めします。または、手動で Cisco Unified Video Advantage およびカメラのドライバを各 PC にインストールすることもできます。
- ユーザがサードパーティ製のビデオカメラを使用する場合、管理者はカメラと共にカメラのドライバを支給し、ドライバのインストール手順を説明するようにしてください。
- エンドユーザは EXE パッケージを使用し、上級ユーザや管理者は MSI パッケージを使用します。



(注) Cisco VT Camera III では、オペレーティングシステムにあるカメラ ドライバを使用するため、ドライバを個別にインストールする必要はありません。

手順

表 2-3 に、アプリケーションおよび Cisco VT Camera II ドライバの展開方法を示します。

表 2-3 アプリケーションおよび Cisco VT Camera II ドライバの展開

実行する操作	手順
ユーザがアクセス可能な共有の場所（Web サーバなど）に実行可能ファイルまたは MSI パッケージを展開します。	ユーザがインストーラを実行し、インストール ウィザードの指示に従ってインストールを完了できるように、昇格した権限でインストーラをプッシュします。
クライアント コンピュータに直接実行可能ファイルまたは MSI パッケージを展開します。必要な場合は、管理者のアカウントを使用します。	ユーザがインストーラを実行し、インストール ウィザードの指示に従ってインストールを完了できるように、昇格した権限でインストーラをプッシュします。 または 管理者としてログインして、クライアント コンピュータでインストール操作を直接実行します。
ソフトウェア展開ツールを使用して、クライアント コンピュータに Cisco Unified Video Advantage およびカメラ ドライバを配布します。ユーザがコンピュータに対して管理者権限がなく、管理者が各クライアント PC へのアプリケーションの手動インストールを行いたくない場合に、この方法を使用します。 ソフトウェア展開ツールには、Active Directory などのグループ ポリシーベースのツールや、Microsoft の SMS ¹ ソフトウェアなどのより高度なツールがあります。	ユーザがインストーラを実行し、インストール ウィザードの指示に従ってインストールを完了できるように、昇格した権限でインストーラをプッシュします。

1. SMS = System Management Server

関連トピック

- 「コマンドライン オプションによる展開のカスタマイズ」 (P.2-5)
- 「ログ ファイルの場所」 (P.2-6)
- 「アプリケーションのインストール」 (P.2-7)
- 「アプリケーションの更新」 (P.2-7)

コマンドライン オプションによる展開のカスタマイズ

表 2-4 は、MSI パッケージによる Cisco Unified Video Advantage の展開および MSI パッケージによる Cisco VT Camera II の展開に特有のコマンドライン オプションの例を示しています（変数の値は一例です）。コマンドライン オプションを使用すると、インストール後にユーザが実行する必要がある設定作業を減らすことができます。



(注) このような設定オプションは新規インストールの場合のみで、アップグレードの場合にはありません。

使用可能なコマンドライン オプションの一覧およびそれらの使用例については、次の URL を参照してください。

<http://msdn2.microsoft.com/en-us/library/aa367988.aspx>

表 2-4 MSI パッケージでのコマンドライン オプションの使用

項目	使用するコマンドライン
ユーザはインストール プロセスに干渉できないが、インストールの進行状況を表示できる	<code>msiexec /i CiscoUnifiedVideoAdvantageSetup.msi /qb</code>
インストール ディレクトリの場所を指定する	<code>msiexec /i \\server\share\CiscoUnifiedVideoAdvantageSetup.msi /qb INSTALLDIR="D:\Newlocation"</code>
指定されたネットワークの位置で Cisco Unified Video Advantage のサーバイメージを作成する	<code>msiexec /a CiscoUnifiedVideoAdvantageSetup.msi</code>
Cisco IP Communicator の起動ボタンを無効にする	<code>msiexec /i CiscoUnifiedVideoAdvantageSetup.msi /qb NOLAUNCHIPCOMMUNICATORBUTTON=1(to deactivate), 0(to activate)</code>
展開のときにビデオの確認設定を有効にする	<code>msiexec /i CiscoUnifiedVideoAdvantageSetup.msi VIDEOCONFIRMATION=1</code>
ビデオ画質設定を無効にする	<code>msiexec /i CiscoUnifiedVideoAdvantageSetup.msi NOVIDEOQUALITYSETTINGSDIALOG=1</code>
フロー制御を無効にする	<code>msiexec /i CiscoUnifiedVideoAdvantageSetup.msi FLOWCONTROLOPTION=1</code>
別のアドレスに E メールを送信するように Cisco Unified Problem Reporting Tool を設定する	<code>msiexec /i CiscoUnifiedVideoAdvantageSetup.msi PROBLEMREPORTMAILER=[e-mail address]</code>
Cisco Unified Video Advantage アプリケーション ログのデフォルトの場所を変更する	<code>msiexec /i CiscoUnifiedVideoAdvantageSetup.msi TRACEPATH="C:\logfilelocation"</code>
Cisco VT Camera II のインストール ログのデフォルトの場所を変更する	<code>msiexec /i CiscoVTCameraDriverSetup.msi /L <Logfile></code>
Cisco Unified Video Advantage によって使用される RTP ポート範囲を設定する	<code>msiexec /i CiscoUnifiedVideoAdvantageSetup.msi /qb UDPSTART=<range_start> UDPEND=<range_end></code>

表 2-4 MSI パッケージでのコマンドライン オプションの使用 (続き)

項目	使用するコマンドライン
標準モードを使用して解決のホワイトリスト化を無効にする	msiexec /i CiscoUnifiedVideoAdvantageSetup.msi /qb DISABLEWHITELIST=1
制限モードを使用して解決のホワイトリスト化を無効にする	msiexec /i CiscoUnifiedVideoAdvantageSetup.msi /qb DISABLEWHITELIST=2



(注) Cisco Unified Video Advantage でウィンドウを表示し、インストーラによってコンピュータが再起動される前に、ユーザがこのウィンドウを手動で閉じる必要があるようにするには、表 2-4 のコマンドライン オプションの「qb」の後に「+」を追加します。

関連トピック

- 「ログ ファイルの場所」 (P.2-6)
- 「アプリケーションのインストール」 (P.2-7)
- 「アプリケーションの更新」 (P.2-7)

ログ ファイルの場所

表 2-5 に、ログ ファイルの種類とそれらの場所を示します。

表 2-5 ログ ファイルの場所

ログの種類	Location
Cisco Unified Video Advantage のインストール	[CommonFilesFolder]CiscoUnifiedVideoAdvantageInstall.log 例 : C:\Program Files\Common Files\CiscoUnifiedVideoAdvantageInstall.log
Cisco Unified Video Advantage アプリケーション	[LocalAppData]Cisco\Cisco Unified Video Advantage 例 : C:\Documents and Settings\ <userid>\Local Settings\Application Data\Cisco\Cisco Unified Video Advantage (Windows XP) 例 : C:\Users\<username>\Appdata\Local\Cisco\Cisco Unified Video Advantage (Windows 7)</username></userid>
Cisco VT Camera II のインストール	[CommonFilesFolder]VTCameraInstall.log 例 : C:\Documents and Settings\ <userid>\Local Settings\Temp (Windows XP) C:\Users\<username>\AppData\Local\Temp (Windows 7)</username></userid>
Cisco Unified Problem Reporting Tool ログ	デスクトップ 例 : C:\Documents and Settings\ <userid>\Desktop (Windows XP) 例 : C:\Users\<username>\Desktop (Windows 7)</username></userid>

関連トピック

- 「アプリケーションのインストール」 (P.2-7)

アプリケーションのインストール

カメラのドライバおよび Cisco Unified Video Advantage をインストールする手順の詳細については、次の URL でユーザ ガイドを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps5662/products_user_guide_list.html



(注)

Cisco Unified Video Advantage をインストールしても、Cisco VT Camera ドライバはインストールされなくなりました。まずカメラのドライバをインストールしてから、次に Cisco Unified Video Advantage アプリケーションをインストールします。それぞれのインストールは、別々の作業として行います。

関連トピック

- 「ログ ファイルの場所」 (P.2-6)
- 「アプリケーションの更新」 (P.2-7)

アプリケーションの更新

作業前の準備

- ソフトウェア ダウンロード サイトにアクセスできるように Cisco.com でアカウントを登録します。
- Cisco Unified Video Advantage のアップグレード時に Cisco VT Camera II のカメラ ドライバが削除されるので、再インストールする必要があります。
- 使用可能な最新ソフトウェア (カメラのドライバおよび Cisco Unified Video Advantage) を、次のサイトからダウンロードします。

<http://tools.cisco.com/support/downloads/go/Redirect.x?mdfid=278875240>

- ユーザは、前のバージョンの Cisco Unified Video Advantage または Cisco VT Camera II のカメラ ドライバを **コントロール パネル** を使用してアンインストールできますが、その必要はありません。

制約事項

Windows OS 環境では、コマンドライン オプションはアップグレードではサポートされていません。新規インストールでだけサポートされます。

手順

- ステップ 1** 使用可能な最新の Cisco Unified Video Advantage ソフトウェアおよび Cisco VT Camera II ドライバを次の Software Center からダウンロードします。

<http://tools.cisco.com/support/downloads/go/Redirect.x?mdfid=278875240>

インストーラは 1 つの zip ファイルにバンドルされています。この zip ファイルに、Cisco VT Camera II ドライバ用のインストーラと Cisco Unified Video Advantage アプリケーション用のドライバが格納されています。

- ステップ 2** 更新されたソフトウェアを展開します。詳細については「関連トピック」を参照してください。

- (ユーザがコンピュータに対して管理者権限を持っている場合) アプリケーションやカメラのドライバの実行ファイルを手動で起動してアップグレードするように、ユーザに指示します。

■ アプリケーションの更新

- (ユーザがコンピュータに対して管理者権限を持っていない場合) ソフトウェア展開ツールを使用して、ソフトウェア アップグレードをプッシュします。ソフトウェア展開ツールを使用すると、インストール プロセスのために、一時的に権限が強化されます。多くの場合、ソフトウェア展開ツールは、初めてアプリケーションを展開するときに使用します。

ステップ 3 ユーザ ガイドの手順に従ってアプリケーションおよび Cisco VT Camera II ドライバをアップグレードするように、ユーザに指示します。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps5662/products_user_guide_list.html

関連トピック

- 「アプリケーションおよび Cisco VT Camera II ドライバの展開」(P.2-4)



CHAPTER 3

ユーザへの Cisco Unified Video Advantage に関する情報の提供

システム管理者は、ネットワークまたは企業内で、Cisco Unified Video Advantage ユーザから情報を求められる立場になります。最新の詳細な情報をエンドユーザに提供する必要があります。

社内サポートサイトに Web ページを作成して、Cisco Unified Video Advantage に関する重要な情報をエンドユーザに提供することをお勧めします。

表 3-1 に、ユーザに提供する必要のある情報を示します。

表 3-1 ユーザに必要な情報

提供する情報	説明
<ul style="list-style-type: none">クライアントハードウェアとソフトウェアの要件に関する情報USB オーディオデバイス用の Microsoft ホットフィックスの場所サポートされている USB カメラのリストおよびそれらの入手方法	<ul style="list-style-type: none">次のリリース ノートの情報を活用します。 http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps5662/prod_release_notes_list.htmlユーザに『Cisco VT Camera Quick Start Guide』を提供します (ユーザが Cisco VT Camera を使用している場合)。 http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps5662/prod_installation_guides_list.html
Cisco Unified Video Advantage および Cisco VT Camera II のドライバのインストールリンク (または実行ファイル)	展開方式によって異なります。詳細については、「アプリケーションおよび Cisco VT Camera II ドライバの展開」(P.2-4) を参照してください。
サードパーティ製カメラのドライバおよびインストール情報	マニュアルおよびドライバをユーザに提供します。必要に応じて、インストールを支援します。

表 3-1 ユーザに必要な情報 (続き)

提供する情報	説明
アプリケーションのインストール、設定、および使用の手順	<p>ユーザに次のマニュアルを提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Unified Video Advantage のユーザ ガイド http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps5662/products_user_guide_list.html • Cisco IP Communicator のユーザ ガイド http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps5475/products_user_guide_list.html • Cisco Unified IP Phone のユーザ ガイド http://www.cisco.com/en/US/products/hw/phones/ps379/products_user_guide_list.html • Cisco VT Camera のマニュアル http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps5662/prod_installation_guides_list.html
アプリケーションの社内サポート	サポートを提供する担当者名および担当者に連絡する手順をユーザに通知します。
Cisco Unified Video Advantage に関する問題の報告方法	<p>Problem Reporting Tool についてユーザに説明し、ロギングを有効にする方法やこのツールを使用するタイミングも説明します。詳細については、第 4 章「Cisco Unified Video Advantage のトラブルシューティング」を参照してください。</p> <p>ログ ファイルの場所をユーザに通知します。詳細については、「ログ ファイルの場所」(P.2-6) を参照してください。</p>



CHAPTER 4

Cisco Unified Video Advantage のトラブルシューティング

- 「ビデオの問題の解決方法」 (P.4-1)
- 「Cisco Unified Communications Manager の診断ツールの使用方法」 (P.4-5)
- 「Cisco Unified Video Advantage の診断情報とログ情報の収集方法」 (P.4-7)

ビデオの問題の解決方法

- 「複数の参加者による会議でビデオが表示されない」 (P.4-1)
- 「音声とビデオリップ同期の不良」 (P.4-2)
- 「ビデオ ウィンドウにビデオが表示されない、ビデオ無効アイコンが表示される」 (P.4-2)
- 「Cisco Unified IP Phone の LCD 画面に「ビデオ帯域幅が使用できません」というメッセージが表示される」 (P.4-3)
- 「システムトレイにビデオ問題のアイコンが表示される」 (P.4-3)
- 「電話スクリーンにビデオアイコンが表示されず、Cisco Unified Video Advantage が Cisco Unified IP Phone に関連付けられない」 (P.4-3)
- 「モバイル機器を使用している従業員または在宅勤務社員の帯域幅問題」 (P.4-4)
- 「H.323 エンドポイントでのコールの切断」 (P.4-4)
- 「PC の CPU 使用率が 100 %」 (P.4-5)

複数の参加者による会議でビデオが表示されない

問題 複数の参加者による会議でビデオが表示されない

解決方法 Cisco Unified Communications Manager (旧称 Cisco Unified CallManager) で、Media Resource Group と Media Resource Group List に MCU が含まれていることを確認します。

音声会議ブリッジではなく、ビデオ会議ブリッジが割り当てられていることを確認します。

関連トピック

- 『Cisco Unified Communications Manager Administration Guide』の「Media Resource Group List, Configuration Settings」の項
- 『Cisco Unified Communications Manager System Guide』の「Media Resources」の項

音声とビデオ リップ同期の不良

問題 音声とビデオ リップ同期の不良

解決方法 この問題は、次のような原因が考えられます。

- QOS の問題。Quality Of Service がネットワーク全体で正しく設定されていることを確認します。
- PC での CPU 使用率が高い。ビデオ コール中は、いくつかのアプリケーションを閉じるようにユーザに指示します。
- ネットワークの輻輳。

関連トピック

- Quality Of Service のデザイン ガイド：
<http://www.cisco.com/warp/public/779/largeent/it/ese/srnd.html>
- 「PC の CPU 使用率が 100 %」 (P.4-5)

ビデオ ウィンドウにビデオが表示されない、ビデオ無効アイコンが表示される

問題 ビデオ ウィンドウにビデオが表示されない、ビデオ無効アイコンが表示される

解決方法 次の解決方法を試します。

- ビデオが表示されない問題をトラブルシューティングするには、『Cisco Unified Video Advantage User Guide』を参照してください。
http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps5662/products_user_guide_list.html
- ビデオに対してリージョンが正しく設定されていることを確認します。「関連トピック」を参照してください。
- ロケーションに十分なビデオ帯域幅が割り当てられていることを確認します。「関連トピック」を参照してください。
- ビデオ機能をサポートしていないメディア ターミネーション ポイント (MTP) またはトランスコーダが、ビデオ コールに割り当てられていないことを確認します。
- Cisco Unified Video Advantage は、デフォルトで、ポート 21000 をビデオ用に使用し、ポート 21002 をミュート ビデオ映像を送信するために使用します。これは、任意のポート範囲を使用するように設定できます。ファイアウォールによってアプリケーションが使用するポートがブロックされる場合、ユーザはビデオを受信しません。ファイアウォールは、展開でビデオに使用されるポートへのアクセスを許可するように設定する必要があります。
- Cisco VPN Client 5.0(x) にアップグレードします。以前のバージョンの Cisco VPN Client は、ビデオをサポートしていません。

関連トピック

- 「Cisco Unified Communications Manager の設定」 (P.1-3)
- 「複数の参加者による会議でビデオが表示されない」 (P.4-1)
- 「システム トレイにビデオ問題のアイコンが表示される」 (P.4-3)

Cisco Unified IP Phone の LCD 画面に「ビデオ帯域幅が使用できません」というメッセージが表示される

問題 Cisco Unified IP Phone の LCD 画面に「ビデオ帯域幅が使用できません」というメッセージが表示される

解決方法 ビデオ コールを行うための帯域幅が不十分です。この状況では、Cisco Unified IP Phone は音声だけのコールを行います。

関連トピック

- 「[Cisco Unified Communications Manager の設定](#)」(P.1-3)
- 『[Cisco Unified Communications Manager Administration Guide](#)』の「Location Configuration」の項

システムトレイにビデオ問題のアイコンが表示される

問題 PC のシステムトレイにビデオ問題のアイコンが表示される

解決方法 Cisco Unified Video Advantage を Cisco Unified IP Phone または Cisco IP Communicator に関連付けられません。Cisco Unified Video Advantage が CDP を正しく送信していない可能性があります。次の解決方法を試します。

- Cisco Unified IP Phone の場合は、クライアント コンピュータが電話機の背面にある PC ポートに接続されていることを確認します。
- イーサネット ケーブルに欠陥がある可能性があります。ケーブルを交換します。
- Cisco IP Communicator の場合は、Cisco IP Communicator Release 2.0 以降を実行していることを確認します。

関連トピック

- 「[Cisco Unified IP Phone の LCD 画面に「ビデオ帯域幅が使用できません」というメッセージが表示される](#)」(P.4-3)

電話スクリーンにビデオアイコンが表示されず、Cisco Unified Video Advantage が Cisco Unified IP Phone に関連付けられない

問題 Cisco Unified IP Phone の LCD 画面にビデオアイコンが表示されない。Cisco Unified Video Advantage が Cisco Unified IP Phone に関連付けられない。

解決方法 次の解決方法を試します。

- Cisco Unified IP Phone ファームウェアのバージョンを確認します。ビデオをサポートしたファームウェアバージョンになっている必要があります。
- Cisco Unified IP Phone モデルがサポートされていることを確認します。
- Cisco Unified Communications Manager で、Cisco Unified IP Phone 用に次のパラメータが正しく設定されていることを確認します。
 - ビデオ機能が有効になっている。
 - PC ポートが有効になっている。

- PC と Cisco Unified IP Phone の間で ping を実行できることを確認します。

関連トピック

- 「Cisco Unified IP Phone の設定」 (P.1-5)

モバイル機器を使用している従業員または在宅勤務社員の帯域幅問題

問題 LAN を通じて作業を行う場合、通常は帯域幅の設定を変更する必要はありません。モバイル機器を使用している従業員または在宅勤務社員がいる場合は、それぞれの帯域幅設定の制限を最大レートにする必要が生じることがあります。

解決方法 次の解決方法を試します。

- Cisco Unified Video Advantage コンソールからビデオ画質の設定を調整するようユーザに指示します ([Settings] > [Video Quality])。[Automatic] を選択解除し、スライダを移動して帯域幅の設定を調整するよう指示します。ポップアップ ツールチップに帯域幅レートが表示されます。
- インターネット サービス プロバイダーに問い合わせるか、上級ユーザの場合は、DSL Reports インターネット サイト (<http://www.dslreports.com/stest>) を参照し、説明に従ってアップロード速度およびダウンロード速度を確認します。一般に、帯域幅はアップリンク速度に基づいて選択します。これは、通常 50 Kbps ~ 1000 Kbps の範囲です。

アップリンク速度を確認したうえで、選択する帯域幅設定とチャンネル容量の間に余裕をいくらか残します (Cisco Unified Communications Manager でのロケーションとリージョンの設定)。



(注)

50 Kbps などの低いレートに制限されている場合、ビデオ会議に参加できないことがあります。

関連トピック

- 「Cisco Unified Communications Manager の設定」 (P.1-3)

H.323 エンドポイントでのコールの切断

問題 コールが H.323 エンドポイントで切断される

解決方法 Cisco IP Communicator が H.323 エンドポイントを保留にした場合、Cisco Unified Communications Manager は Empty Capabilities Set (ECS) と呼ばれる手順を使用します。この手順は、Null Capabilities Set または TCS=0 と呼ばれることもあります。H.323 エンドポイントが保留になった場合の応答を正しく機能させるためには、ECS のサポートが必要です。ECS がサポートされていない場合、H.323 エンドポイントは Cisco Unified Communications Manager の ECS メッセージを認識しないため、そのエンドポイントが保留になったときにコールが切断されます。

そのため、転送、会議、パークといった暗黙的な保留処理が行われる操作でも、コールが切断されます (たとえばコールを転送する場合、Cisco Unified Communications Manager は、転送を完了する前に一度そのコールを保留にします)。

次の解決方法を試します。

- 使用している H.323 エンドポイントが ECS をサポートしていることを確認します。



(注)

一部の ECS の実装では、転送、会議、またはパーク操作の後で、音声コールをビデオ コールにすることができません。

- エンドポイントが ECS をサポートしていない場合：
 - メディア ターミネーション ポイント (MTP) を追加して補足的なサポートを提供し、コールが切断されることなく、保留、転送、会議、およびパークを利用できるようにします。この場合、コールでビデオはサポートされません。
 - 保留、転送、会議、およびパーク機能よりビデオを優先するには、MTP を要求するように H.323 を設定します。ただし、Media Resource Group List (MRGL) とデフォルトの MRGL に、MTP またはトランスコーダが含まれていないことを確認してください。この設定により、デバイスにコールするときに保留、転送、会議、およびパークは無効になり、Cisco Unified Communications Manager は H.323 エンドポイントがこれらの機能をサポートしていないことを認識します。

PC の CPU 使用率が 100 %

問題 PC の CPU 使用率が 100 %

解決方法 次の解決方法を試します。

- サポートされているリリースを使用していることを確認します。

Cisco Unified Communications Manager Release 4.3 は、Cisco Unified Video Advantage が Cisco IP Communicator または Cisco Unified IP Phone と連携して動作するために必要な最低限のリリースです。サポートされているリリースのリストについては、次の Cisco Unified Video Advantage リリース ノートを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps5662/prod_release_notes_list.html

- PC の CPU リソースの一部を解放するには、ビデオ コール中に使用されていないアプリケーションを閉じます。
- クライアント コンピュータが Cisco Unified Video Advantage のハードウェア要件を満たしていることを確認します。詳細については、次のリリース ノートを参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps5662/prod_release_notes_list.html

Cisco Unified Communications Manager の診断ツールの使用方法

- 「Serviceability Troubleshooting Trace の使用方法」(P.4-5)
- 「Real-Time Monitoring Tool (RTMT) の使用方法」(P.4-6)
- 「CDR Analysis and Reporting (CAR) の使用方法」(P.4-7)

Serviceability Troubleshooting Trace の使用方法

作業前の準備

Serviceability ページへのナビゲーションは、使用している Cisco Unified Communications Manager のリリースによって異なることがあります。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager 管理ページにログインします。
- ステップ 2** 右上にある [Navigation] ドロップダウン リストから、[Serviceability] オプションを選択し、[Go] をクリックします。
- ステップ 3** [Trace] > [TroubleShooting Trace Setting] を選択します。
-

Cisco Unified Communications Manager Serviceability Trace の設定と使用方法の詳細については、次の URL で、Serviceability のシステム ガイド（「トレース」の項）または Serviceability のアドミニストレーション ガイド（「Troubleshooting Trace Setting Configuration」の項）を参照してください。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html

関連トピック

- 「Real-Time Monitoring Tool (RTMT) の使用方法」(P.4-6)
- 「CDR Analysis and Reporting (CAR) の使用方法」(P.4-7)

Real-Time Monitoring Tool (RTMT) の使用方法

Cisco Unified Communications Manager Real-Time Monitoring Tool を使用すると、リアルタイム情報（アクティブなビデオ コール、完了したビデオ コールなど）をモニタできます。

作業前の準備

Serviceability ページへのナビゲーションは、使用している Cisco Unified Communications Manager のリリースによって異なることがあります。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager 管理ページにログインします。
- ステップ 2** 右上にある [Navigation] ドロップダウン リストから、[Serviceability] オプションを選択し、[Go] をクリックします。
-

このツールの設定および使用の詳細については、次のガイドを参照してください。

- Cisco Unified Communications Manager Release 7.x の場合：『Cisco Unified Communications Manager Real-Time Monitoring Tool Administration Guide』

これらのガイドは、次の URL でご利用いただけます。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html

関連トピック

- 「Serviceability Troubleshooting Trace の使用方法」(P.4-5)
- 「CDR Analysis and Reporting (CAR) の使用方法」(P.4-7)

CDR Analysis and Reporting (CAR) の使用方法

CAR を使用すると、コールの詳細レコードを表示し、ビデオ会議ブリッジ情報に関するレポートを生成できます。

作業前の準備

Serviceability ページへのナビゲーションは、使用している Cisco Unified Communications Manager のリリースによって異なることがあります。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager 管理ページにログインします。
 - ステップ 2** 右上にある [Navigation] ドロップダウン リストから、[Serviceability] オプションを選択し、[Go] をクリックします。
-

このツールの設定および使用の詳細については、次のガイドを参照してください。

- Cisco Unified Communications Manager Release 7.x の場合 : 『*Cisco Unified Communications Manager CDR Analysis and Reporting Administration Guide*』

これらのガイドは、次の URL でご利用いただけます。

http://www.cisco.com/en/US/products/sw/voicesw/ps556/prod_maintenance_guides_list.html

関連トピック

- 「Serviceability Troubleshooting Trace の使用方法」 (P.4-5)
- 「Real-Time Monitoring Tool (RTMT) の使用方法」 (P.4-6)

Cisco Unified Video Advantage の診断情報とログ情報の収集方法

- 「診断情報の収集」 (P.4-7)
- 「他のアプリケーションの問題に関する詳細ログの取得」 (P.4-8)
- 「ログの自動キャプチャ (アプリケーションがクラッシュした場合)」 (P.4-9)

診断情報の収集

診断ツールは、PC で実行中の Cisco Unified Video Advantage ソフトウェアの現在の状態に関する技術的な詳細情報を提供します。

- Cisco IP Communicator または Cisco Unified IP Phone に関する接続情報
- Cisco VT Camera のパフォーマンスに関する問題 (低メモリ状態によるビデオ遅延問題など)
- パケット合計数 (送信または受信)、パケット損失、パケット廃棄、平均ジッタと最大ジッタ、平均遅延と最大遅延など、各コールの終端におけるパケット統計情報

診断ウィンドウのすべての情報が、アプリケーション ログに記録されます。

シスコの Technical Assistance Center (TAC) に問い合わせて Cisco Unified Video Advantage の問題をトラブルシューティングする場合、TAC の担当者は、診断ウィンドウに表示される情報の提供を依頼することがあります。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified Video Advantage を起動します。
- ステップ 2** コンソール上の任意の場所でマウスの右ボタンをダブルクリックして、診断ウィンドウを表示します。
- ステップ 3** 左側のナビゲーション ペインにあるオプションをクリックし、特定の診断情報を表示します。
-

関連トピック

- 「ログ ファイルの場所」 (P.2-6)
- 「他のアプリケーションの問題に関する詳細ログの取得」 (P.4-8)
- 「ログの自動キャプチャ (アプリケーションがクラッシュした場合)」 (P.4-9)

他のアプリケーションの問題に関する詳細ログの取得

Cisco Unified Video Advantage の問題のトラブルシューティングに、詳細ログ ファイルが必要になることがあります。詳細ログには次の特性があります。

- デフォルトでは詳細ロギングは無効になっており、ログは情報レベル (3) で収集されます。
- 詳細ログは、冗長レベル (5) で収集されます。
- 詳細ログは、ユーザが設定を変更するまで有効の状態が続きます。

ログ ファイルは、アプリケーション データ フォルダに格納されます。

制約事項



注意

詳細ロギングを有効化するようにユーザに求めるのは、特定の問題を解決しようとしている場合のみにしてください。詳細ログは、特にローエンド コンピュータでパフォーマンスを低下させます。トラブルシューティング アクティビティが完了したら、必ず詳細ロギングを無効化するようにユーザに指示してください。

手順

-
- ステップ 1** ユーザ ガイドの手順に従ってログ ファイルをキャプチャするように、ユーザに指示します。
- 詳細ログを有効にします (Cisco Unified Video Advantage コンソール ウィンドウの [Settings] > [Enable Detailed Logs])。
 - Cisco Unified Video Advantage を再起動してログをクリアし、アプリケーションを既知の状態にします (可能な場合)。問題が断続的に続いたり、予期しない場合に発生するときは、アプリケーションを再起動せずにログを取得します。
 - 問題を再現します (可能な場合)。
 - Problem Reporting Tool を手動で起動し、レポートを管理者に送信します。

- ステップ 2** Cisco Technical Assistance Center (TAC) の担当者に Zip ファイルを送信します (要請があった場合)。

関連トピック

- 「ログ ファイルの場所」 (P.2-6)
- 「診断情報の収集」 (P.4-7)
- 「ログの自動キャプチャ (アプリケーションがクラッシュした場合)」 (P.4-9)

ログの自動キャプチャ (アプリケーションがクラッシュした場合)

Cisco Unified Video Advantage が突然クラッシュした場合、Problem Reporting Tool はインストール情報、アプリケーション情報、およびクライアント コンピュータ情報を自動的に収集し、クライアント コンピュータ上でトレース プロセスとクラッシュ ダンプ収集プロセスを自動的に実行します。

手順

- ステップ 1** ユーザ ガイドの手順に従ってログ ファイルをキャプチャするように、ユーザに指示します。

- ユーザのデスクトップに自動的に生成された Zip ファイルを特定します。
- この Zip ファイルをユーザのデスクトップから管理者に電子メールで送信します。

アプリケーションのインストール時または展開時に E メール サポート エイリアスを設定した場合は、Zip ファイルは自動的にそこに送信されます。詳細については「関連トピック」を参照してください。

- ステップ 2** TAC から依頼を受けた場合は、Zip ファイルを担当者に提供します。

関連トピック

- 「コマンドライン オプションによる展開のカスタマイズ」 (P.2-5)
- 「診断情報の収集」 (P.4-7)
- 「他のアプリケーションの問題に関する詳細ログの取得」 (P.4-8)



APPENDIX A

Cisco VT Camera II の技術仕様

物理環境および動作環境に関する仕様

表 A-1 に、Cisco VT Camera II の物理環境および動作環境に関する仕様を示します。
Cisco VT Camera II は、欧州連合 RoHS 準拠の要件を満たしています。



(注)

Cisco VT Camera II ドライバのダウンロードに関する詳細については、「[ソフトウェアダウンロードサイト](#)」(P.2-3) を参照してください。

表 A-1 Cisco VT Camera II の物理環境および動作環境に関する仕様

仕様	値または範囲
動作温度および相対湿度	0 ~ 40 °C (32 ~ 104 °F) 相対湿度 10 ~ 90% (結露のないこと)
保管温度および相対湿度	-10 ~ 60 °C (14 ~ 140 °F) 相対湿度 10 ~ 90% (結露のないこと)
重量	200 g 未満 (カメラの汎用スタンドを含む)
USB ケーブルおよびコネクタ	<ul style="list-style-type: none">シールド付きUL 認定品直径 3.9 mm長さ 9 フィート

■ 物理環境および動作環境に関する仕様

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、およびCisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用はCiscoと他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0809R)

この資料の記載内容は2008年10月現在のものです。

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先: シスコ コンタクトセンター

0120-092-255(フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間: 平日 10:00~12:00、13:00~17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>